
海原の大鷲 登場人物紹介

J I N

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

海原の大鷲 登場人物紹介

【Nコード】

N3754G

【作者名】

JIN

【あらすじ】

私こと、JINが執筆している艦魂海戦小説、「海原の大鷲」の登場人物の紹介です。本当は、これは該当する小説ページの中でやるべきだとも思いますが、序章の前かもしくは他所に持つて来るべきだと思い、こういう形にしました。読者の皆様方、悪しからず。

「海原の大鷲」の登場人物など【ウィルキア王国第十一艦隊、主要登場人物】

オリジナルキャラクターのみを掲載します。

ゲーム本編で登場するキャラクターについては、公式ホームページ等をご覧ください。

カイト・A・トライトン（28）

ウィルキア王国海軍第11近衛艦隊所属の中佐。

生誕地は港町シエルドハーフェンの軍人一家で、ウィルキア人の父親と日本人の母親の間の長男として生まれる。

1939年3月、約一ヶ月後に迫った配属先の最新鋭艦フリースベルグの進水式を待たずに、ヴァイセンベルガー大将が起こしたクーデターに巻き込まれる。

近衛艦隊に配属されたライナルト・シュルツとは海軍大学校時代の親友でありライバル。

シュルツと違い電子戦闘やイージスシステムの戦闘技術の単位などまで取得していたため、

本来は履修しないはずの学習に明け暮れて、首席卒業の座をシュルツに奪われた。

冷静に事を分析する推察力や戦略眼に優れ、戦闘行動に於いては基本的には慎重派なのだが、時として大胆な行動を取る。

舞台となる最新鋭ミサイル巡洋戦艦フリースベルグの艦長を務め亡命政府樹立後、

ウィルキア解放軍西方第3艦隊の旗艦艦長として帝国と超兵器との

戦いを繰り広げる事になる。

リナ・V・スワロー（26）

ウィルキア王国海軍第11艦隊所属の大尉。

ウィルキア王国首都シュヴァンブルグ出身のイギリス系ウィルキア人。

カイトとは、海軍大学校時代の先輩と後輩の関係であり、彼と同じ配属先の艦『フリースベルグ』

では副長及び通信長を務める事になる。

真面目ながら凜とした性格で物怖じせず気が強い性格のため、上司に疎まれることもしばしば。

しかし、カイトの前では丸くなってしまふ事も・・・

バン・A・トライトン（25）

名前の通りカイトの実弟で、近衛海軍中尉。

無線通信の技師資格を取得しており、通信長として活躍していた。

小さいころに兄の背に隠れて育った事が災いし、今でも若干小心になる場面もある。

最新鋭艦フリースベルグのCIC砲雷長として、そして一解放軍の兵士として世界の海原と言う名の戦場に赴くことになる。

ジェラルド・バクスター（63）

ウィルキア王国海軍の大佐で、第11近衛艦隊の司令官。

例え小事でも問題があれば放っておけない性格で、軍人としての使命感は人一倍強いと自負している。

亡命政府樹立後には、近衛海軍の副司令だったアルベルト・ガルトナーを、解放軍の司令に推挙。

自身は解放軍副司令及び、西方第3艦隊の司令官として職務を全うする事に。

下士官や若手士官とも年齢や階級の垣根を越えて交流が深く、よく慕われることが多い。

ジャン・R・ブロード（47）

ウィルキア王国海軍の大佐で、第11近衛艦隊所属のシエルドハーフェン級

一番艦シエルドハーフェンの艦長。

ニック・アンデルセン（61）

ウィルキア王国海軍の大佐で、第11近衛艦隊所属のシエルドハーフェン級

二番艦ブローズグ・ホーヴィの艦長。

ヴィクター・ガイドストック（33）

ウィルキア王国海軍の少佐で、第11近衛艦隊所属ブローズグ・ホーヴィの

艦載早期警戒管制機（CB-AWACS）E-130センチュリオンの管制官。

フリースベルグ

実年齢：1歳

見た目：15歳くらい

ちよっぴり天然系の性格だが、実は同じ艦隊のどの艦魂達より頭が良い。

その為か、乗組員達に様々な知識等を授ける。

名前の由来は、北欧神話で世界中の風を起こし、全てを知る大鷲。フリースベルグ
反乱を起こした国防海軍に所属し、まだ姿見ぬ実妹ニースヘッグの事を心配している。

シエルドハーフェン

実年齢：17歳

見た目：20歳くらい

口調は男言葉だが、謝る時や上官と話す時は（当然だが）敬語になる。

真面目な性格だが、それは王国への忠誠心の現れ。

長年、第11近衛艦隊の旗艦を務め、経験も豊富。

名前の由来は、ウィルキア王国の主要都市から。シエルドハーフェン

ブローズグホーヴィ

実年齢：16歳

見た目：20歳くらい

性格は穏やかで、艦隊の艦魂達の世話役の艦魂お姉さん。

しばしば、へましてシエルドハーフェンに怒られた艦魂達を慰めている。

シエルドハーフェン級戦艦の二番艦として生まれ、第11近衛艦隊への所属も長い。

姉のシエルドハーフェンに次いで、海外にたくさんの艦魂親友が多い。

名前の由来は、北欧神話において豊穡神フレイの馬である《ブローズグホーヴィ》から。

フェンリア

実年齢：5歳

見た目：17歳くらい

男勝りの性格で、艦隊一の暴れじゃじゃ馬。

羽目を外し過ぎた彼女を鎮圧する役は、シエルドハーフェンが担っている。

名前の由来は、北欧神話に登場する狼から。
フェンリヤ

【日本海軍の主要登場人物】

坂上 幸樹（19）

成績優秀な為、日本海軍の最新鋭イージス艦、“きんぼう”の艦長に選ばれた青年。

階級は少佐。

よくドジる事があるが、緊急時の艦長としての手腕は一級。

ドジる事が災いして、よく艦魂“きんぼう”の餌食になっている。

宮本 宏史（19）

かなりの調子者だが、きんぼうの副長。

戦闘時にはCICに於いて砲雷長を兼ねる。

山下 誠治（43）

幸樹達を小さい時から率いて、彼等に軍人としての英才教育を仕込んだ海軍大佐。

孤児院出身の彼らからは、まるで父親のように慕われている。

性格や思想も変わっており、古い倫理にとらわれない考えが出来る人物。

元々は、陸軍に所属していたのだが海に憧れて転属。

陸軍士官学校では無く、陸軍中野学校を卒業している。

松原 信哉（25）

日本海軍航空部隊のパイロット、階級は大尉

時に大胆、時に繊細な操縦技量でこれまで他国との演習で数十機を判定撃墜したエースパイロット。

翼端を白く塗った機体に搭乗する事から、「護国の白鷹」と呼ばれる。

アメリカ西海岸沖でフリースベルグとの激闘の末、相討ち覚悟で機体をつっ込ませた。

その後、本当の世界情勢を知り・・・

きんぼう

幸樹が艦長を務めるミサイル駆逐艦“きんぼう”の艦魂。

クルー達にはかなり厳しく、その恐れられようはまさに鬼嫁。

【ウिल्キア黒海駐留艦隊】

エーベルハルト・ヴァン・シュナイダー（29）

ドイツ系ウिल्キア人、階級は大佐

ウिल्キア海軍士官学校の卒業生で、カイトより一年上の先輩にあたる。

父親が外国特務将官としてウिल्キアに渡り、二歳の時にドイツからウिल्キアに渡る。

おかげで、ほとんどドイツの事に関して知っていることは無いと言っても良い。

ある日、ドイツ海軍の漂流者アンネリス・フリーゲルと出会った事で薄々感じていた異変を核心に変え、

ウिल्キア黒海駐留艦隊を同志と共に最新鋭APRA搭載ミサイルフリゲート艦、『レーヴァティン』を奪取して離反。

それ以後は欧州解放の戦いを展開する。

慇懃無礼な性格、揚げ足を取るのが非常に上手い。

レティとの中はそこまで良くなさそうに見えて、実際はかなり信頼

が厚い。

大のタバコ好き、一番で吸いながら山を作る事もしばしば。

アンネリス・フリーゲル（24）

ドイツ海軍技術科連隊の海軍士官、階級は大尉

技術士官として演習中のドイツ海軍の戦艦に乗艦しているところを、謎の巨大潜水艦によって

撃沈させられ黒海沿岸のウィルキア駐留艦隊の軍港付近に漂着したところを、エーベルハルトに

保護される。彼女が伝えた情報で、エーベルハルトの意志が固まることになる。

脱駐留艦隊以降、戦術研究への知識を買われて同時に人員不足でもあったため『レーヴァティン』の副長となる。

大のカレー好き、特に日本海軍の海軍カレーに強い憧れを抱いている。

レーヴァティン

実年齢：1歳

見た目：16歳程

ウィルキア海軍が超兵器の護衛艦として建艦したフリゲート艦、『レーヴァティン』の艦魂の少女

エーベルハルト達からは『レティ』と呼ばれている。

時折他の艦の艦魂を見下すような発言をするのは、自らの最新鋭装備APRAを誇りに思っているから。

一見艦長のエーベルハルトとは仲が悪そうに見えるが、実は心の中

では彼をかなり気遣っている。

【アメリカ海軍】

セシリア・クリスター（29）

アメリカ海軍サンディエゴ基地副司令、およびフォレストル級5番艦アトランティスの艦長。

聡明かつ思想にとらわれない多角的な考え方ができ、米海軍の中ではカイト達の数少ない良き理解者の一人。

4年前のメキシコ紛争の際、奇襲により大ダメージを負ったアトランティスを、当時アトランティスの副長だった彼女が戦死した艦長の代理として残存戦力をまとめ上げ、

沈没寸前だったアトランティスや艦隊を立て直すことに成功した。

その時の功績を称えられ、一年後には現在と同じ大佐に昇進し、正式にアトランティスの艦長になった。

メキシコ紛争での出来事以来、艦魂のランの信頼は厚い。

軍規も重要視はしているが、情に厚い彼女は軍規よりもそちらの方を優先させる事もある。

アトランティス

実年齢：7歳

見た目：17歳程度

米海軍スーパーキャリアーの代表格である、フォレストル級航空母

艦の5番艦アトランティスの艦魂の少女。

4年前に参加したメキシコ内戦で、沈没寸前に追い込まれると言う窮地に陥り生存を諦めかけていたが、セシリアの的確な指示で自艦や艦隊全体が立て直されていくのを見て、彼女への信頼を高めるきっかけになった。

親しい間柄や姉たちからはランと呼ばれている。

性格柄、艦隊の艦魂達の乱れを取り締まる風紀委員のような役割を担っている。

【ウィルキア帝国】

ディアナ・アズナヴール（26）

ウィルキア国防海軍の士官、階級は中佐。

新世代の艦として建艦されたフリースベルグ級の二番艦、ニースヘツグの艦長を務める。

のちにウィルキア王国からウィルキア帝国へと体制が変わるが、彼女自身その変化をそこまで危険視はしていなかった。

そしてそれは、ヴァイセンベルガーが全世界に対する戦端を開くと宣言した後も変わらず、

やり方や口実はともかく、これまでに起こった幾多の変革と同じく、そのような変革で血を流すのは地球人の運命と考えている。

戦局に応じて優れた判断力と、的確に任務を遂行する姿勢から若いにも関わらずクルーの信頼はかなり厚い。

リナとは士官学校時代の同級生。

士官学校の学生時代から、高飛車なりナの事をお嬢様と揶揄し、あまり快くは思っていなかった模様。

ちなみに、シュルツと同じく首席で士官学校を卒業している。

カイトの事をよく知るが、それには深い理由がある。

ニーズヘッグ

実年齢：1歳

見た目：14歳程度

フリースベルグ級二番艦、ミサイル巡洋戦艦ニーズヘッグの艦魂。
ディアナ達からは、ニーズと呼ばれている。

フリースに比べて感情の起伏の幅が少ないので、姉よりもかなり大人しく見える。

実姉のフリースとは、まだ会った事がない。

そしてウィルキア帝国の艦として生まれた以上、実姉と戦うのも仕方のない事だと考えている。

【登場艦艇等の設定紹介】

【フリースベルグ級ミサイル巡洋戦艦】

1920年代にウィルキア海軍参謀部が打ち出した、水上を空母以上の速力で航行し、なおかつ空母の艦載機に劣らない

打撃力を有する艦艇というコンセプトの基に開発された巡洋戦艦。

コンピューターによる統合戦闘システム（イージスシステム）を搭載した、最新鋭のイージス艦である。

その戦艦並の巨体に、弾薬類を豊富に詰め込みアーセナルシップのような弾薬積載量を誇るため、補給の頻度が少ない。

ステルス性を重視した船体は隠密性を高めるため、横幅が喫水線よ

り上部に行くにつれ細くなり、
船首部は上部より下部が前方にはり出した形状のため刃のように波
を切り裂く。

原子力とガスタービンのハイブリッドで航行し、最大速力39ノッ
トを誇る高速巡洋戦艦。

しかしその高価さが祟り、1939年現在では2隻の建造しか成さ
れていない。

名の由来は、北欧神話において世界の風を巻き起こし、世界の全て
を知る大鷲フリースベルグから来ている。

【フリースベルグ級ミサイル巡洋戦艦】

>i9810—1438<

フリースベルグ(WKS CGX-1 Hresveigr)

排水量：4,3000トン(満載)

全長：216m

全幅：28m

喫水：8.6m

機関：ウィルキアンエンジニア社 AD6原子炉4基4軸、LE1
002ガスタービンエンジン4基

速力：最大39+ノット(時速約70km)

航続距離：(ガスタービンのみで)約1,2000km 巡航速度

(32ノット)時

兵員：士官18名、兵員200名

兵装：305mm半固定艦首電磁砲×1基

280mmAGS単装×3基

57mmCIGS×3基

対空ミサイル発射VLS

対地巡航ミサイル発射VLS

対艦ミサイル斜方発射管

VL-ASROC

艦首魚雷発射管×4門

RAM×3基

同型艦

ニーズヘッグ(WKS CGX-2 Nidhegg)

排水量：4,300トン(満載)

全長：216m

全幅：28m

喫水：8.6m

機関：ウィルキアンエンジニア社 AD6原子炉4基4軸、LE1
002ガスタービンエンジン4基

速力：最大39ノット（時速約70km）

航続距離：（ガスタービンのみで）約1,200km 巡航速度
（32ノット）時

兵員：士官18名、兵員200名

兵装：280mmAGS単装×3基

57mmCI GS×3基

対空ミサイル発射VLS

対地巡航ミサイルVLS

対艦ミサイル斜方発射管

多目的弾道ミサイル“リンドブルム”発射VLS

VL-ASROC

艦首魚雷発射管×4門

RAM×2基

電磁パルス発生装置

フリースベルグとは違い、国防海軍主導で建艦が進められた二番艦。ステルス性能や高性能のレーダーによる防空戦闘能力など、おおよそ一番艦のフリースベルグと変わらない。

しかし、フリースベルグには搭載されているレールガンを搭載せず、電力を殆ど必要とせず、かつ長射程高威力の兵装である多目的弾道ミサイル“リンドブルム”を搭載した。そのため、主砲AGS二番砲塔がフリースベルグに比べて艦首側に移動している。

そしてその空いた空間に、リンドブルム発射用のVLSが設置されている。

戦局に応じて弾頭を換装でき、レールガンより発射に大きな電力も時間も必要としない

リンドブルム弾道ミサイルを搭載するニーズヘッグは、フリースベルグに比べてかなり野心的な設計がなされたと言える。また電磁砲を搭載しないため有り余った電力は、一切の誘導能力を無効化し約半径5 km以内の艦船や航空機の電子機器を狂わせる電磁パルス発生装置の稼働に使われる。

【シェルドハーフェン級特装戦艦】

1910年、狭い領土の割に世界有数の海軍力を保持していたウィルキア海軍は日本に次いで航空戦艦の設計に着手した。しかし、日本海軍の航空戦艦は発艦はできても着艦が出来ないと言う致命的な欠点を持っていた。

ウィルキアも日本海軍の伊勢型を改善したタイプの開発コードW8というアングルドデッキの航空戦艦構想を描いていたが、空母としての打撃能力、戦艦としての大火力、いずれもが中途半端になっている事に気付き、開発を取りやめる。

そこで開発者たちは、設計を今一度最初から見直す事にした。まず開発者たちが何よりも大事にしたのは、空母としての長所、戦艦としての長所、いずれもを損ねてはいけないということだった。さらには、運河通過機能の関係上モノハル船（単胴船）以外は考えられない。

空母としての機能については、まずデッキの形から考え直さなければならなかった。

後部にフライトデッキを配置する形では、前方に艦橋や砲塔などがあるために艦載機に大きなリスクや制限が課せられる。

また、戦艦としての機能も前方後方にそれぞれ主砲が配置される形式でなければ十二分にその真価を発揮できない。

開発者たちが至った新大型航空戦艦の様式、それはまずフライトデッキを左舷と右舷に分け、場合に依じて発艦専用、着艦専用とすることができるようにした。

両舷に分けた事により、中央に大火力の火砲や誘導弾などを広々と多数配置する事が可能となった。

ただし、通常動力とは言え卓越した打撃力と防御力を誇る航空戦艦は防御に貧弱なイメージのある空母の

それまでの常識を一変させることになる。

国際社会からの強い反発を懸念したウィルキアは、この航空戦艦を戦艦として建艦することにした。

そして1925年、有事の際は資材さえあればわずか数日ほどで航空戦艦へと改装できるようにした特装戦艦を世に送り出す。

その特装戦艦のクラスネームおよび一番艦は最初に建造された都市の名前を取り、シエルドハーフェンと名付けられた。

【特徴など】

シエルドハーフェン級は、航空戦艦に改装可能なように設計されているため他国の戦艦より中央から後部にかけて全幅が大きく広がっている。

そのため排水量は日本海軍の代表的な戦艦である大和型よりも二万トン以上多い9万トンにのぼる。

船首部は他の箇所よりも一段低くなっており、仮にこの部分に砲を設置した場合、砲塔を高くしなくても後列の砲塔の射角を妨害しないようになっている。

中央部には、最大で46cm砲を前方3基、後方2基、計5基設置する事が可能となっており、主砲や誘導弾などで構成される圧倒的な火力はウィルキア艦艇攻撃の要となる。

シエルドハーフェンおよび二番艦ブローズグ・ホーヴィには、艦首部に多数のセルからなるVLSが装備されており、中にはSM-1

MR対空ミサイルとVL-ASROCが装填されている。大多数のセルが存在するが、二艦ともイルミネーターが二つしかない、SM-1MRの誘導は一度に二発までしかできない。また、シールドハーフェンの工期に艦橋の建造が間に合わなかったため、シールドハーフェンの前艦橋は日本で建造中止となった大和型戦艦6番艦“因幡”に使用予定だった艦橋が取り付けられ改装、後艦橋はシュヴァンブルグ級戦艦の既存の物を使用している。

【シールドハーフェン級特装戦艦・シールドハーフェン級航空戦艦】

シールドハーフェン(WKS BX-031 Shieldhave
n)

>i10021—1438<

排水量：7,4000トン《航空戦艦時9,5000トン(満載)》

全長：331m

全幅：62m《航空戦艦時80m》(喫水線の下部全幅は46m)

喫水：9.8m

機関：ウィルキアンエンジンAL1000型ガスタービン12基

速力：最大33ノット

兵員：1200名《航空戦艦時：航空要員+1600名》

兵装：46cm50口径三連装砲×5基

対艦ミサイル発射機×4

対空ミサイルVLS

VL-ASROC

35mmCIWS×4

巡航ミサイル発射機×2基

27mm三連装機銃×14

設備等

カタパルト×4

舷側エレベーター×4基

照明塔×4基

航空信号灯等

同型艦

>i9883—1438<

ブローズグホーヴィ(WKS BX-032 Blodughof
i)

ただし、ブローズグホーヴィの主砲は50・8cm45口径二連装
砲×4基

また前後の艦橋が一番艦シールドハーフェンとは違い、更に通信索
敵能力や防空指揮能力が向上している。

その前後艦橋は本来、完成が遅れなければシールドハーフェンに取
り付けられる予定であった。

きんぼう(JNS DDG-1 Kinbo)

排水量：8,200トン

全長：169 m

全幅：21.5 m

喫水：6.3 m

速力：最大33ノット

兵員：200名

兵装：127 mm単装砲×1

対空ミサイル発射VLS

対艦ミサイル発射機（七一式対艦誘導弾キャニスター）

対潜ASROC VLS

舷側魚雷発射管

20 mm CIWS×2

電子戦装置一式

【用語集】

《ア行》

F-22 NATF

ステルス戦闘機であるF-22の海軍型の機体。試作でわずか五機しか作られていない。

通常の空軍型と違い、可変翼を採用し空母からの発着艦を可能にするためアレステイングフックも備え付けられている。

可変翼を採用しているため、低速時の運動性能や高速飛行等にも安定した機動力を誇るが、その分重量が空軍型に比べて若干重くなっており、主翼に整備の手も多く使うことになる。

E-130 センチリオン

アメリカ軍の輸送機C-130ハーキュリーズを、ウィルキア海軍が艦載空中管制機として開発した機体。世界でも海軍国家のウィルキアしか導入していない機体。

《サ行》

CB-AWACS シーバックス

Carrier Based-Airborn Warning
And Control Systemの略で、

艦載空中早期警戒管制機という意味になる。

空母やそれに類する艦艇から発着艦が出来る空中管制機をいう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3754g/>

海原の大鷲 登場人物紹介

2010年12月3日05時20分発行